

日本国際政治学会2012年度研究大会 共通論題・部会プログラム  
(2012年10月1日現在)

---

10月19日 (金)

---

午後の部会 (13:00~15:30)

- 部会1 中東・北アフリカの政治変動と国際社会** [131+132]
- 司会 池田明史 (東洋英和女学院大学)
- 報告 池内恵 (東京大学)
- 「アラブ諸政権の崩壊と持続——様式と要因」
- 片岡貞治 (早稲田大学)
- 「リビア内戦と国際社会」
- 泉淳 (東京国際大学)
- 「中東の政治変動における米国の役割」
- 討論 酒井啓子 (千葉大学)
- 大津留 (北川) 智恵子 (関西大学)
- 
- 部会2 日本の国際政治学——学会のあり方と学問のあり方 【協賛：日本学術会議】** [133+134]
- 司会 古城佳子 (東京大学)
- 報告 石田淳 (東京大学)
- 「逆説と不合理の国際政治学——国際関係論における知の構図」
- 李鍾元 (早稲田大学)
- 「日本の国際政治学における理論と歴史」
- 林忠行 (京都女子大学)
- 「地域研究からみる日本国際政治学会」
- 討論 大芝亮 (一橋大学)
- 鈴木基史 (京都大学)
- 
- 部会3 アメリカと集団的安全保障——冷戦・核・インテリジェンス (自由論題部会)** [231]
- 司会 伊東孝之 (早稲田大学)
- 報告 西田竜也 (広島市立大学)
- 「集団防衛同盟としてのWestern Unionの意義と限界  
——英米の戦略の交差するところ」
- 有江浩一 (防衛大学校)
- 「冷戦期のNATOにおける核共有と拡大抑止の関係性」
- 高橋慶吉 (大阪大学)
- 「アメリカの『2つの中国』政策——その形成と構造」
- 小林良樹 (慶應義塾大学)
- 「政治とインテリジェンスの関係」
- 討論 佐々木卓也 (立教大学)
- 金子讓 (防衛研究所)

部会4 国際社会と国家構築——介入・支援・移民（自由論題部会） [232]

司会 稲田十一（専修大学）

報告 小松志朗（早稲田大学）・角田和広（明治大学）

「人道的介入の実効性と国益——冷戦後の事例と英国学派の理論を手がかりに」

鍋島孝子（北海道大学）

「JST-JICAプロジェクト『コンポスト・トイレをアフリカ農村に入れる』

——ポスト・モダンの農民アクターへの学際的アプローチ」

古地順一郎（在カナダ日本国大使館）

「カナダ・ケベック州の移民・マイノリティ統合政策の変容——1980年代を中心に」

討論 稲田十一（専修大学）

篠田英朗（広島大学）

加藤普章（大東文化大学）

部会5 トランスナショナルな脅威とナショナルな安全保障 [233]

——違法薬物の国際取引をめぐって

司会 伊藤剛（明治大学）

報告 二村久則（名古屋大学）

「メキシコ『麻薬戦争』とその政治的影響」

福海さやか（亜細亜大学）

「タイにおける麻薬密輸とその脅威」

小田桐確（慶應義塾大学）

「NATOと麻薬対策——アフガニスタンの事例を中心に」

討論 武田康裕（防衛大学校）

本名純（立命館大学）

分科会セッションA（15：45～17：15）別掲

分科会セッションB（17：30～19：30）別掲

---

10月20日（土）

---

午前の部会（9：30～12：00）

部会6 アメリカのアジア太平洋シフトの検証 [131+132]

司会 中山俊宏（青山学院大学）

報告 高原秀介（京都産業大学）

「アメリカの東アジア政策の史的展開——『理念外交』の系譜を中心に」

湯澤武（法政大学）

「東南アジア主要国から見た米国のアジア太平洋リバランス

——政治・社会変革の影響」

森聡（法政大学）

「アメリカのアジア太平洋シフトの実相」

討論 高原明生（東京大学）

滝田賢治（中央大学）

- 部会7 「保護する責任」論再考** [133+134]
- 司会 滝澤美佐子 (桜美林大学)  
報告 清水奈名子 (宇都宮大学)
- 「『保護する責任』と国連安全保障体制——法的問題の考察」  
立山良司 (防衛大学校)
- 「『アラブの春』と『保護する責任』——リビアとシリアの比較」  
佐藤章 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
- 「国連のコートジボワール介入に対するアフリカ諸国の『合意』をめぐって」  
討論 青井千由紀 (青山学院大学)  
伊能武次 (和洋女子大学)
- 部会8 東アジアの選挙民主再考** [222]
- 司会 増山幹高 (慶應義塾大学)  
報告 浅羽祐樹 (山口県立大学)
- 「『自由民主』と韓国憲法裁判所——外交政策の法化と日韓関係の変容」  
松本充豊 (天理大学)
- 「台湾における大統領・議会関係と政党ガバナンス」  
鈴木隆 (愛知県立大学)
- 「中国における『選挙民主主義』の現状と『中国的民主主義』のゆくえ」  
討論 岩崎正洋 (日本大学)  
藤原帰一 (東京大学)
- 部会9 資源をめぐる国際政治——中国とアフリカを軸に** [232]
- 司会 岩下明裕 (北海道大学)  
報告 土屋貴裕 (防衛大学校)
- 「中国の国家戦略における資源政策」  
平野克己 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
- 「中国版『マーシャルプラン』とアフリカの変容」  
高橋基樹 (神戸大学)
- 「アフリカにおける資源をめぐるポリティカル・エコノミー——包摂的開発のための歴史的考察——」  
討論 堀本武功 (京都大学)  
遠藤誠治 (成蹊大学)

部会 10 日韓安全保障協力——擬似同盟論の再検討【日韓合同部会】 [233]

(使用言語：日本語、一部英語)

- 司会 Ahn Yinhay (韓国国際政治学会会長)  
報告 金珍基 (Kim Jin Ki) (釜慶大学)  
「東アジア安保秩序の変化と日韓安保協力」  
陳昌洙 (Jin Chang Soo) (世宗研究所)  
「北東アジアにおける日韓安保協力の意義と限界」  
阪田恭代 (神田外語大学)  
「『擬似同盟』としての日韓安全保障協力——現況と展望」  
討論 道下徳成 (政策研究大学院大学)

部会 11 大量破壊兵器の不拡散をめぐる北朝鮮、中国、米国、EUの政策 [234]

- 司会 納家政嗣 (青山学院大学)  
報告 倉田秀也 (防衛大学校)  
「北朝鮮の核開発と核兵器国の義務」  
梅本哲也 (静岡県立大学)  
「米中関係と大量破壊兵器不拡散」  
植田隆子 (国際基督教大学)  
「EU の大量破壊兵器不拡散政策」  
討論 吉崎知典 (防衛研究所)  
秋山信将 (一橋大学)

分科会セッションC (13:30~15:10) 別掲

総会 15:10~15:40

[センチュリーホール]

【共通論題】 グローバル不況と政治変動 15:40~18:30 [センチュリーホール]

- 司会 竹中千春 (立教大学)  
報告 飯田敬輔 (東京大学)  
「開放マクロ経済と政治変動——理論と実証」  
遠藤乾 (北海道大学)  
「ユーロ、EU、世界—いったい何の危機なのか?—」  
末近浩太 (立命館大学)  
「グローバル不況と中東の政治変動」  
劉傑 (早稲田大学)  
「中国モデルの再模索——改革か伝統への回帰か」  
討論 山本吉宣 (東京大学)

懇親会 19:00~20:30

[レセプションホール]

---

10月21日（日）

---

分科会セッションD（9：30～11：00）別掲

分科会セッションE（11：15～12：45）別掲

午後の部会（14：00～16：30）

**部会12 EUガバナンスの射程** [221]

司会 渡邊啓貴（東京外国語大学）

報告 福田耕治（早稲田大学）

「欧州債務危機と EU 社会保護ガバナンス」

八十田博人（共立女子大学）

「イタリア実務家政権の財政危機対応——新たな EU ガバナンス形成のなかで」

児玉昌己（久留米大学）

「EU ガバナンスの危機と連邦主義的対応

——ユーロ危機と欧州議会選挙での対応を事例に」

討論 渡邊啓貴（東京外国語大学）

森井裕一（東京大学）

**部会13 「地域抑止」の現状と課題** [222]

司会 川上高司（拓殖大学）

報告 福田毅（衆議院事務局）

「アメリカの安全保障政策における『地域抑止』の位置づけ

——冷戦後の抑止戦略と前方展開戦略の変容」

松永泰行（東京外国語大学）

「湾岸・中東地域における『地域抑止』態勢と域内ダイナミズム」

高橋杉雄（防衛研究所）

「北東アジアにおける『地域抑止』——動的抑止と戦略核抑止の連関性」

討論 柴山太（関西学院大学）

安田淳（慶應義塾大学）

**部会14 脱植民地化・冷戦・同盟** [232]

司会 木畑洋一（成城大学）

報告 永野隆行（獨協大学）

「イギリスの東南アジア政策——脱植民地化と英米豪同盟関係の展開」

池田亮（関西外国語大学）

「チュニジア・モロッコの脱植民地化と仏英米関係」

藤井篤（香川大学）

「アルジェリア戦争とアメリカ国務省——脱植民地化をめぐる仏米関係」

討論 小川浩之（東京大学）

都丸潤子（早稲田大学）

- 部会15 日本の対中外交40年** [133+134]
- 司会 五百旗頭真 (熊本県立大学)
- 報告 添谷芳秀 (慶應義塾大学)
- 「日中国交正常化を振り返る——1970年代の日中関係にみる両国外交の異質性」  
神田豊隆 (早稲田大学)
- 「1980年代の冷戦と日本の対中外交——中曽根政権を中心に」  
益尾知佐子 (九州大学)
- 「日本の安全保障政策における中国——40年間の変化と今後の方向性」
- 討論 五百旗頭真 (熊本県立大学)  
波多野澄雄 (ハーバード大学)

- 部会16 人道援助の国際政治学【市民公開講座】** [234]
- 司会 星野俊也 (大阪大学)
- 報告 上野友也 (岐阜大学)
- 「自然災害と被災者支援——国際防災学の再発見」  
山下光 (防衛研究所)
- 「新人道主義とポスト冷戦期の世界政治——人道援助の危機を契機として」  
奥田太郎 (南山大学)
- 「人道支援の倫理——博愛か偏愛か」
- 討論 吉川元 (上智大学)

---

10月19日(金)

---

**分科会セッション A (15:45~17:15)**

**A-1 欧州国際政治史・欧州研究 I** 責任者 細谷雄一(慶應義塾大学) [222]

テーマ 自由論題

司会 細谷雄一(慶應義塾大学)

報告 山越裕太(上智大学)

「両大戦間期の国際保健衛生制度の成立—国際連盟保健機関を中心として」

清水謙(東京大学)

「冷戦初期スウェーデンの『中立』の再検討—イギリスとの軍事協力を中心に」

討論 篠原初枝(早稲田大学)

齋藤嘉臣(金沢大学)

**A-2 ラテンアメリカ** 責任者 杉山知子(愛知学院大学) [231]

テーマ ラテンアメリカをめぐる援助・国際協力

司会 杉山知子(愛知学院大学)

報告 江原裕美(帝京大学)

「ラテンアメリカへのアメリカ教育文化交流—現代技術援助の源流」

小林かおり(大阪大学)

「『人間の安全保障』形成過程と政治的意味

—国連・人間の安全保障基金プログラムを通じて：ニカラグアの場合」

討論 杉山茂(静岡大学)

田中高(中部大学)

**A-3 アフリカ** 責任者 遠藤貢(東京大学) [131+132]

テーマ ルワンダ内戦の歴史的再検討

司会 遠藤貢(東京大学)

報告 鶴田綾(エジンバラ大学)

「ルワンダ民族対立の歴史的再検討—革命及び独立期を対象に」

船田クラーセンさやか(東京外国語大学)

「アフリカにおける脱植民地化とナショナリズム—ルワンダの事例を中心に」

討論 武内進一(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

**A-4 理論と方法 I** 責任者 浜中新吾 (山形大学) [223]

**テーマ 国際紛争研究の普遍的視座**

司会 浜中新吾 (山形大学)

報告 大原俊一郎 (京都大学)

「ドイツ国際政治史学の歴史的文脈と思想—1980年代から冷戦終結後まで—」

大村啓喬 (滋賀大学)

「天然資源と内戦の継続期間」

小浜祥子 (北海道大学)

「国際紛争における停戦後の平和構築と戦後復興」

討論 多湖淳 (神戸大学)

葛谷彩 (明治学院大学)

**A-5 安全保障 I** 責任者 石川卓 (防衛大学校) [133+134]

**テーマ 冷戦初期の米英のインテリジェンス**

司会 赤木完爾 (慶應義塾大学)

報告 小谷賢 (防衛研究所)

「『エシュロン』の起源—BRUSA 協定と UKUSA 協定の成立過程」

大野直樹 (相愛大学)

「アイゼンハワー政権の安全保障戦略とインテリジェンス」

討論 赤木完爾 (慶應義塾大学)

春名幹男 (名古屋大学)

**A-6 国際交流** 責任者 都丸潤子 (早稲田大学) [232]

**テーマ 自由論題**

司会 都丸潤子 (早稲田大学)

報告 小畑理香 (神戸大学)

「高等教育におけるヨーロッパ地域協力の発展をめぐるフランスの政策的関与

—ボローニャ・プロセスの発足過程を中心に—」

永井義人 (広島市立大学)

「島根県と韓国慶尚北道との地方間交流と『竹島の日』条例制定」

討論 杉村美紀 (上智大学)

権容爽 (一橋大学)

**A-7 平和研究 I** 責任者 前田幸男 (大阪経済法科大学) [233]

**テーマ 国家を支える主体、国家を越える主体**

司会 前田幸男 (大阪経済法科大学)

報告 吉田鈴香 (拓殖大学)

「Non-State Actors が平和の担い手へと変容するインセンティブ」

川久保文紀 (中央学院大学)

「ボーダー・身体・セキュリティー北米地域の文脈」

討論 土佐弘之 (神戸大学)

黒田俊郎 (新潟県立大学)

前田幸男 (大阪経済法科大学)



- B-1 日本外交史 I** 責任者 庄司潤一郎 (防衛研究所) [231]  
テーマ 自由論題  
司会 庄司潤一郎 (防衛研究所)  
報告 藤村一郎 (久留米大学)  
「吉野作造の軍部批判と大陸政策論」  
中田崇 (日本大学)  
「ジョージ・ブロンソン・レーと満洲事変期日本の『宣伝外交』」  
加藤博章 (防衛大学校)  
「自衛隊海外派遣への道—ペルシヤ湾掃海艇派遣問題を中心に」  
討論 北岡伸一 (政策研究大学院大学)
- B-2 欧州国際政治史・欧州研究 II** 責任者 細谷雄一 (慶應義塾大学) [133+134]  
テーマ 転換期の大西洋同盟  
司会 芝崎祐典 (成城大学)  
報告 合六強 (慶應義塾大学)  
「NATO『二重決定』への道—西欧の不安と米国の信頼性確保の試み」  
小林弘幸 (慶應義塾大学)  
「第1次ハロルド・ウィルソン政権の大西洋核戦力構想」  
討論 川嶋周一 (明治大学)  
芝崎祐典 (成城大学)
- B-3 東アジア I** 責任者 松田康博 (東京大学) [222]  
テーマ 現代中国の政軍／党軍関係  
司会 滝口太郎 (東京女子大学)  
報告 林載桓 (青山学院大学)  
「中国の政軍関係再考—党、軍、社会」  
毛利亜樹 (同志社大学)  
「人民解放軍の立法活動—中国の党軍関係—試論」  
討論 朱建榮 (東洋学園大学)
- B-4 国際統合 I** 責任者 吉武信彦 (高崎経済大学) [223]  
テーマ 外からみた EU の現在  
司会 吉武信彦 (高崎経済大学)  
報告 小久保康之 (東洋英和女学院大学)  
「アイスランドと EU 統合—EU 加盟申請に向けて」  
福井英次郎 (慶應ジャン・モネ EU 研究センター)  
「日本の新聞における EU 像—欧州金融危機の前後の比較の視点から」  
討論 吉武信彦 (高崎経済大学)  
舒旻 (早稲田大学)

**B-5 国際政治経済 I** 責任者 山田敦 (一橋大学) [131+132]

**テーマ 対外援助の起源と思想—日米比較を通じた分析**

司会 平野健一郎 (国立公文書館アジア歴史資料センター)

報告 浅野豊美 (中京大学)

「経済協力の国際政治的起源—賠償をめぐる日米特殊関係」

宇田川光弘 (東京学芸大学)

「自助とオーナーシップ—日本の自助努力支援援助の批判的検討」

市原麻衣子 (関西外国語大学)

「公共ガバナンス理解が民主化支援に与える影響—ドナー国としての日米を事例として」

佐藤真千子 (静岡県立大学)

「米国の人権政策と対外援助」

討論 宮城大蔵 (上智大学)

小川裕子 (東海大学)

**B-6 トランスナショナル I** 責任者 飯笹佐代子 (東北文化学園大学) [232]

**テーマ 戦間期の国際秩序構想—トランスナショナリズムのイメージとその相対化**

司会 鎌田真弓 (名古屋商科大学)

報告 三牧聖子 (日本学術振興会)

「アメリカ『理想主義』外交の歴史的系譜—その多様性」

山中仁美 (名古屋商科大学)

「戦間期イギリスの国際関係研究におけるナショナリズム論

—チャタム・ハウス (王立国際問題研究所) での議論を中心に」

片山慶隆 (関西外国語大学)

「戦間期日本の平和主義とナショナリズム—水野広徳を中心に」

浜由樹子 (津田塾大学)

「『汎イズム』の伝播と思想交流—戦間期ロシアと『アジア』を中心に」

討論 服部龍二 (中央大学)

**B-7 平和研究 II** 責任者 前田幸男 (大阪経済法科大学) [233]

**テーマ 国際政治を学ぶ/教える—ペダゴギーとしての国際政治**

司会 前田幸男 (大阪経済法科大学)

報告 芝崎厚士 (駒澤大学)

「グローバルな世界の読み書き

—駒澤大学・青山女子短期大学・東京大学での実践を中心に」

五野井郁夫 (高千穂大学)

「ノン・ヘゲモニーを志向する国際関係研究とは何か

—国際関係研究の教育における『初期条件』をめぐって」

討論 前田幸男 (大阪経済法科大学)

毛利勝彦 (国際基督教大学)

分科会セッションC(13:30~15:10)

C-1 日本外交史Ⅱ・安全保障Ⅱ 責任者 庄司潤一郎(防衛研究所)、石川卓(防衛大学校)

[234]

テーマ 沖縄と日米安保体制—返還40周年に考える

司会 我部政明(琉球大学)

報告 河野康子(法政大学)

「沖縄問題と日米安全保障条約改定交渉—日本外務省の対応を中心に」  
高橋和宏(防衛大学校)

「ドル防衛と沖縄返還をめぐる日米関係 1967-1969」  
黄洗姫(海洋政策研究財団)

「沖縄返還と日米安全保障協議—同盟の非対称性の定着」

討論 我部政明(琉球大学)

中島琢磨(龍谷大学)

C-2 東アジア国際政治史Ⅰ 責任者 川島真(東京大学)

[222]

テーマ 清朝を取り巻く国際政治

司会 川島真(東京大学)

報告 小池求(日本学術振興会)

「東アジア協商体制の成立と独米清連携構想(1907-1909)」  
望月直人(京都大学)

「中英『シッキム・チベット協定(1890年)』の背景

—清朝・チベット間における対シッキム観の歴史的相克と総理衙門の積極外交」

討論 櫻井良樹(麗澤大学)

茂木敏夫(東京女子大学)

C-3 欧州国際政治史・欧州研究Ⅲ／国際統合Ⅱ

責任者 細谷雄一(慶應義塾大学)、吉武信彦(高崎経済大学)

[221]

テーマ 欧州安全保障の新展開

司会 細谷雄一(慶應義塾大学)

報告 中村登志哉(名古屋大学)

「ドイツ連邦軍の国際協調活動と広報外交—『包括的アプローチ』を超えて」  
山本健(名古屋商科大学)

「二重のポーランド危機とEC諸国、1980-81年」

討論 清水聡(明治大学)

**C-4 アメリカ政治外交** 責任者 青野利彦 (一橋大学) [232]

**テーマ** 冷戦変容期のアメリカ外交

**司会** 青野利彦 (一橋大学)

**報告** 新垣拓 (防衛研究所)

「ジョンソン政権における核不拡散政策の展開」

手賀裕輔 (慶應義塾大学)

「ニクソン政権のベトナム戦争終結計画—1969年の強制外交の失敗」

**討論** 黒崎輝 (福島大学)

水本義彦 (二松学舎大学)

**C-5 ロシア東欧** 責任者 中野潤三 (鈴鹿国際大学) [223]

**テーマ** 自由論題

**司会** 中野潤三 (鈴鹿国際大学)

**報告** 佐藤圭史 (北海道大学)

「民族的資源動員の中範囲理論

—ソ連邦末期のモルドヴァ、エストニア、リトアニアでの事例を中心に」

加藤美保子 (北海道大学)

「21世紀初頭の国際システムの変化とロシアのアジア・太平洋政策」

**討論** 六鹿茂夫 (静岡県立大学)

小澤治子 (新潟国際情報大学)

**C-6 中東** 責任者 横田貴之 (日本大学) [131+132]

**テーマ** ミドルパワーとしてのトルコ外交の可能性

**司会** 立山良司 (防衛大学校)

**報告** 今井宏平 (中央大学)

「中東地域におけるトルコの仲介政策

—シリア・イスラエルの間接協議とイランの核開発問題を事例として」

平井由貴子 (外務省)

「コーカサスにおけるミドルパワーとしてのトルコ外交

—トルコ・アルメニア国交回復とナゴルノ・カラバフ問題」

バハドゥル・ペリヴァントルク (TOBB 大学)

「『伝統的』ミドルパワーと『新興』ミドルパワー

—国際政治における日本外交とトルコ外交の比較研究」

**討論** 池田明史 (東洋英和女学院大学)

**C-7 国際政治経済Ⅱ** 責任者 山田敦 (一橋大学) [133+134]

**テーマ** TPPと日本・アジア太平洋地域

**司会** 山田敦 (一橋大学)

**報告** 石黒馨 (神戸大学)

「TPP交渉と日本の農政改革」

椛島洋美 (横浜国立大学)

「TPP—埋め込まれた競争」

金ゼンマ (関西外国語大学)

「日本のTPPと『第三の道』—国内政治プロセスの観点から」

**討論** 毛利勝彦 (国際基督教大学)

- C-8 政策決定** 責任者 上村直樹 (南山大学) [233]  
テーマ 対外政策と政権交代・「政治主導」— 一日米の事例から  
司会 上村直樹 (南山大学)  
報告 信田智人 (国際大学)  
「日本外交における政治主導」  
松本明日香 (日本国際問題研究所)  
「米国政権交代期における対外政策の移行と継続— デタント期とその前後を比較して」  
討論 伊奈久喜 (日本経済新聞社)  
島村直幸 (杏林大学)

- C-9 ジェンダー** 責任者 磯崎典世 (学習院大学) [231]  
テーマ 自由論題  
司会 磯崎典世 (学習院大学)  
報告 木村真希子 (明治学院大学)  
「南アジアの紛争地におけるマイノリティ女性への複合差別」  
戸田真紀子 (京都女子大学)  
「女子高襲撃事件とアフリカの角を巡る国際政治」  
討論 田村慶子 (北九州市立大学)  
中溝和弥 (京都大学)

---

10月21日(日)

---

**分科会セッション D (09:30~11:00)**

- D-1 日本外交史Ⅲ** 責任者 庄司潤一郎 (防衛研究所) [131+132]  
テーマ 対米開戦通告遅延の問題について— 東京からの発信がなぜ 15 時間遅れたのか  
司会 渡邊昭夫 (平和・安全保障研究所)  
報告 三輪宗弘 (九州大学)  
「対米開戦通告の 15 時間遅延の謎— 陸軍参謀本部なのか、外務省なのか」  
井口治夫 (名古屋大学)  
「日米開戦とフーヴァー回想録— 天皇親電に至る日米外交」  
討論 塩崎弘明 (長崎純心大学)  
小谷賢 (防衛研究所)

- D-2 東アジアⅡ** 責任者 松田康博 (東京大学) [232]  
テーマ 韓国現代史の諸相  
司会 阪田恭代 (神田外語大学)  
報告 井上睦 (一橋大学)  
「新自由主義下での福祉国家形成— 韓国を事例に」  
全惠涓 (慶應義塾大学)  
「冷戦初期米国の東アジア戦略と日韓関係」  
討論 木宮正史 (東京大学)

- D-3 理論と方法Ⅱ** 責任者 浜中新吾 (山形大学) [221]
- テーマ** 国際比較世論調査データを使った政策分析
- 司会 猪口孝 (新潟県立大学)
- 報告 藤井誠二 (新潟県立大学)
- 「アジア・バロメーター調査データを用いた Geriatric Peac の実証研究  
—社会保障費と軍事費に対する意識と年齢との関係について」
- 窪田悠一 (新潟県立大学)
- “Facing a Crisis with Calmness?: The Global Response  
to the Fukushima Nuclear Disaster”
- 討論 山本吉宣 (東京大学)
- 
- D-4 トランスナショナルⅡ** 責任者 飯笹佐代子 (東北文化学園大学) [222]
- テーマ** 自由論題
- 司会 飯笹佐代子 (東北文化学園大学)
- 報告 尾和潤美 (University of Warwick)
- 「国際協力における協調行動—OECD 開発援助委員会 (DAC) を事例として」
- 湯澤 (下谷内) 奈緒 (東京大学)
- 「国際問題としての移行期正義—国際司法介入と体制移行」
- 討論 望月克哉 (東洋英和女学院大学)
- 望月康恵 (関西学院大学)
- 
- D-5 国連研究Ⅰ** 責任者 星野俊也 (大阪大学) [133+134]
- テーマ** 国連における軍備管理・軍縮交渉
- 司会 福田毅 (衆議院事務局)
- 報告 佐藤丙午 (拓殖大学)
- 「武器輸出等に関する国家の義務と ATT」
- 榎本珠良 (東京大学)
- 「1990年代以降の通常兵器規制における国連と NGO—国連 ATT プロセスを中心に」
- 討論 青木節子 (慶應義塾大学)
- 
- D-6 若手研究者・院生研究会** 責任者 安高啓朗 (立命館大学) [223]
- テーマ** 宗教、ナショナリズム、国際関係
- 司会 板橋拓己 (成蹊大学)
- 報告 住家正芳 (立命館大学)
- 「内村鑑三におけるナショナリズム、宗教、進化論—Japan と Jesus をつなぐもの」
- 宮崎悠 (北海道大学)
- 「殉教の岐路—カトリック教会とユダヤ人問題」
- 鈴木啓之 (東京大学)
- 「パレスチナにおける抵抗運動と宗教—殉教作戦を事例に」
- 討論 西谷修 (東京外国語大学)
- 板橋拓己 (成蹊大学)

**分科会セッション D・E (9:30~12:45)**

- D・E-1 平和研究Ⅲ** 責任者 前田幸男(大阪経済法科大学) [233]  
テーマ **規範形成・普及・履行過程における非国家主体の関与**  
司会 宮脇昇(立命館大学)  
報告 庄司真理子(敬愛大学)  
「国連による平和維持規範の変遷  
—国連グローバルコンパクト『ビジネスと平和』ガイダンス文書成立の背景」  
秋林こずえ(立命館大学)  
「アジア太平洋における『ジェンダーと平和』トランスナショナル・ネットワーク」  
西谷真規子(神戸大学)  
「グローバル腐敗防止運動ネットワーク」  
討論 宮脇昇(立命館大学)  
蓮生郁代(大阪大学)

**分科会セッション E (11:15~12:45)**

- E-1 日本外交史Ⅳ** 責任者 庄司潤一郎(防衛研究所) [131+132]  
テーマ **The Images of Meiji Japan Seen from the Viewpoint of European Diplomats**  
司会 稲葉千晴(名城大学)  
報告 Ian Ruxton(九州工業大学)  
“Meiji Japan through the Eyes of Ernest Satow”  
Olavi K. Fält(オウル大学)  
“The Image of Japan in Finland and Sweden, 1853–1904”  
討論 松本佐保(名古屋市立大学)  
Sven Saaler(上智大学)
- E-2 東アジア国際政治史Ⅱ** 責任者 川島真(東京大学) [232]  
テーマ **戦後初期東アジア国際政治史**  
司会 阿南友亮(東北大学)  
報告 松村史紀(宇都宮大学)  
「二つの中ソ同盟の比較研究(1945–50)」  
金恩貞(神戸大学)  
「初期日韓会談請求権問題における外務省の政策決定過程  
—『相互放棄プラスアルファ論』の形成を中心に」  
討論 石井明(東京大学)  
木宮正史(東京大学)

- E-3 東南アジア**      責任者 永井史男 (大阪市立大学)      [221]
- テーマ** 自由論題
- 司会 永井史男 (大阪市立大学)
- 報告 重政公一 (関西学院大学)
- 「プレアビヒア寺院をめぐるセキュリタイゼーション、ディセキュリタイゼーション  
—2008年のカンボジアによる世界遺産登録をめぐる一考察」
- 木村友彦 (ニューサウスウェールズ大学)
- 「1970年代のオーストラリアの東ティモール問題に対する外交政策  
—外務省による民族自決を支持する政策に注目して」
- 討論 高橋正樹 (新潟国際情報大学)
- 首藤もと子 (筑波大学)
- 
- E-4 安全保障Ⅲ**      責任者 石川卓 (防衛大学校)      [222]
- テーマ** 核戦力と通常戦力の相関関係—南アジアを事例に
- 司会 石川卓 (防衛大学校)
- 報告 長尾賢 (海洋政策研究財団)
- 「核拡散時代における通常戦力の役割—インドの軍事戦略の変遷を事例として」
- 栗田真広 (一橋大学)
- 「国家の紛争処理戦略における核兵器の保有の影響  
—パキスタンの通常戦力を事例として」
- 討論 広瀬崇子 (専修大学)
- 石川卓 (防衛大学校)
- 
- E-5 国連研究Ⅱ**      責任者 星野俊也 (大阪大学)      [133+134]
- テーマ** 国連研究のフロンティア
- 司会 星野俊也 (大阪大学)
- 報告 大平剛 (北九州市立大学)
- 「国連経済社会理事会 (ECOSOC) の復権?  
—国連開発協力フォーラム (UNDCF) にみるグローバル・ガバナンスの可能性」
- 玉村健志 (一橋大学)
- 「国連コンゴ活動 (ONUC) と宗主国による支配の『非公式化』  
—脱植民地化、冷戦、国連平和維持活動」
- 政所大輔 (神戸大学)
- 「『保護する責任』規範の普及と国連事務総長の役割」
- 討論 星野俊也 (大阪大学)



テーマ 地球環境ガバナンスと多国間交渉、規範の衝突、政策変化

司会 阪口功 (学習院大学)

報告 真田康弘 (法政大学)

「国際水産資源ガバナンス—水産資源管理機関における多国間外交分析とその考察」

角倉一郎 (政策研究大学院大学)

「ポスト京都議定書を巡る多国間交渉—規範的アイデアの衝突と調整の政治力学」

渡邊理絵 (新潟県立大学)

「日独気候政策変化の比較—非漸進的政策変化に関する理論の有効性と課題」

討論 都留康子 (中央大学)

大矢根聡 (同志社大学)

小尾美千代 (南山大学)